I-O DATA

UHDIシリーズ
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

109063-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- B'sCrewおよびB'sCrewのロゴは株式会社ビー・エイチ・エーの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず本書で方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ハードディスクや MO ディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所



アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください。

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。

また、コネクタ・基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

お読みになる前に

このたびは、「UHDIシリーズ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® Professional 2000 Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 Operating System
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98
Windows	Windows 2000, Windows Me, Windows 98
Mac OS 8/9	Mac OS 8.6～9.2.2
Mac OS X	Mac OS 10.0.3～10.2

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください i
お読みになる前に v
もくじ vi

はじめに **1**

箱の中には 2
動作環境 4
お使いのパソコンは？ 7

PC98-NXシリーズ, DOS/Vマシンで使う **9**

本製品を設定しよう 10
取り付け金具を取り付けよう 11
取り付けよう 13

Macintoshで使う **19**

本製品を設定しよう 20
取り付けよう 21
初期化しよう 25

付録 **33**

困った時には 34
フォーマットしよう 37
パーティションの基礎知識 58
別売オプション品 63

お問い合わせ 64
修理について 66

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

お使いのパソコンは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・7

お使いのパソコンに合ったページを案内しています。

箱の中には

箱の中には下記のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

箱・梱包材は

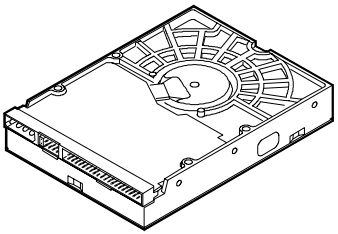
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

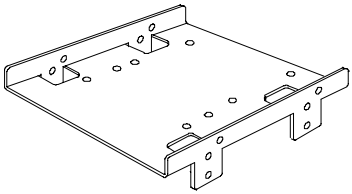
実物と若干異なる場合があります。

☐ **ハードディスク（１台）**

［UHDIシリーズ］



☐ **5インチベイ（ファイルベイ）用金具（１枚）**



☐ **金具取り付けネジ（４個）**



☐ **本体装着用ネジA（４個）**



☑ **UHDIシリーズ取扱説明書（本書：１冊）**

☐ **UHDIシリーズのハードウェア仕様（１枚）**

☐ **ハードウェア保証書（１枚）**

B'sCrew for Windows一式（UHDI-120GHのみ添付）

［・フロッピーディスク
・ビー・エイチ・エー社製ユーザー登録ハガキ
・B'sCrew for Windowsユーザーズマニュアル
・B'sCrew for Windows専用シリアルNO.シール］



B'sCrew for Windows ユーザーズマニュアル補足情報（UHDI-120GHのみ添付）

参考

ユーザー登録

▼ここにシリアル番号をメモしてください。
シリアル番号は本製品の表面に貼られている白いシールに印字してあります。（「株式会社アイ・オー・データ機器」の上に貼られています）

※ シリアル番号は12桁（例：ABC0987654ZX）のものです。
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。

B'sCrew for Windowsに関してのお問い合わせ

・UHDI-120GHのみ対応しております。
137Gバイト以上のハードディスクは、B'sCrew for Windowsでお使いいただけません。
・B'sCrew for Windowsに関してのお問い合わせは、ビー・エイチ・エー社にお願いいたします。（65ページ）

動作環境

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・Ultra ATA対応のEnhanced IDEインターフェイス環境があること。
また、それに本製品を接続できること。
※本製品の最高転送速度に対応した環境をおすすめします。

・本製品の容量に対応していること。
※特に137Gバイトを超える本製品をお使いの場合は、ご注意ください。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※1	Windows XP, Windows 2000※2, Windows Me※3, Windows 98 SE※3※4, Windows 98※3※4 Windows NT 4.0※5※6※7
PowerMac G4※7※8 PowerMacintosh G3※7※9	Mac OS 8.6～9.2.2 Mac OS 10.0.3～10.2

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　Ultra DMA/133またはUltra DMA/100転送を使う場合、Service Pack 2以上が必要です。Service Packの判別方法については、次ページをご覧ください。

※3　システム環境が「32ビット」になっている必要があります。
システム環境の確認方法については、次ページをご覧ください。

※4　FDISKのアップデートが必要です。
このホームページから、FDISKのアップデートをしてください。

http://www.microsoft.com/japan/support/kb/articles/jp263/0/44.htm

※5　Service Pack 4以上が必要です。
Service Packの判別方法については、次ページをご覧ください。

※6　本製品にWindows NT 4.0をインストールすることはできません。
本製品を起動用ハードディスクとしてお使いいただけません。

※7　UHDI-120GHのみ対応しています。

※8　Cubeを除きます。

※9　M7554J/A, M7555J/A, M7556J/Aのみ対応しています。

本製品に、Windows XP/2000をインストールする場合

本製品内のパーティションを削除してからでないと、正しくインストールされません。

※ OSのインストール方法は、お使いの環境によって異なる場合があります。そのため弊社では、OSのインストールについてのサポート・保証はいたしておりません。

環境がハードディスクの容量に対応していないと・・・

最大容量で使えてしまうことがありますが、お使いになるうちにデータが破損・消滅してしまうおそれがあります。

必ずハードディスクの容量に対応した環境でお使いください。

Service Packの判別方法

①［マイコンピュータ］の［ヘルプ］をクリックし、メニュー内の［バージョン表示］をクリックします。

②表示される「Service Pack x」のxを確認してください。

それがService Packのバージョンとなります。

「Service Pack x」が表示されない場合は、Service Packがインストールされていません。

※ Service Packは下記ページより、手に入れてください。

http://www.microsoft.com/japan/

本製品はすでにFAT32にてフォーマットされています

Windows XP/2000/Me/98では、本製品を取り付けるだけでお使いいただけます。

Windows NT 4.0, Mac OSでは、本製品をフォーマット／初期化する必要があります。

Windows Me/98のシステム環境を確認する方法

①［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［パフォーマンス］タブをクリックし、［ファイルシステム］と［仮想メモリ］が「32ビット」であることを確認します。

※「32ビット」でない場合は、パソコンメーカーにご確認ください。



対応転送方式

本製品が対応している転送方式を説明します。
本製品を接続している環境で対応している転送方式が使われます。

対応転送方式	最大転送速度（理論値）
Ultra DMA/133	133Mバイト/Sec
Ultra DMA/100	100Mバイト/Sec
Ultra DMA/66	66.6Mバイト/Sec
Ultra DMA/33	33.3Mバイト/Sec
DMA	16.6Mバイト/Sec
PIO	16.6Mバイト/Sec



お使いの環境と対応転送方式
お使いの環境が対応している転送方式については、パソコン、インターフェイスなどの取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせください。

Ultra ATAインターフェイス



本製品の容量に対応したインターフェイスをお使いください
本製品の容量をサポートしているかどうかにつきましては、お使いのインターフェイスのメーカーにお問い合わせください。
（下記の【推奨インターフェイス】をおすすめします。）

転送方式に対応したケーブルをお使いください
お使いのケーブルが転送方式に対応していない場合は、弊社別売オプションをご利用ください。
詳しくは、【別売オプション品】(63ページ)もご覧ください。

●推奨インターフェイス

弊社製	UIDE-133, UIDE-66※

※ 本製品の最高転送速度を出すことはできません。
また、137Gバイト以上の本製品をお使いいただけません。

お使いのパソコンは？

ここでは、お使いのパソコンに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのパソコン	章	
PC98-NXシリーズ	【PC98-NXシリーズ,DOS/Vマシンで使う】	9ページ
DOS/Vマシン		
Macintosh	【Macintoshで使う】	19ページ

Memo

PC98-NXシリーズ, DOS/Vマシンで使う

本製品を設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・・１０

本製品を設定する方法を説明します。

取り付け金具を取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・１１

取り付け金具の取り付けについて説明します。

取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・１３

本製品をパソコンに取り付けます。

本製品を設定しよう

本製品を設定する方法を説明します。

設定方法

「ジャンパスイッチ」により、本製品を設定します。
詳しくは、添付の冊子「UHDIシリーズの仕様」をご覧ください。

参考

IDEの基礎知識

"パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで"

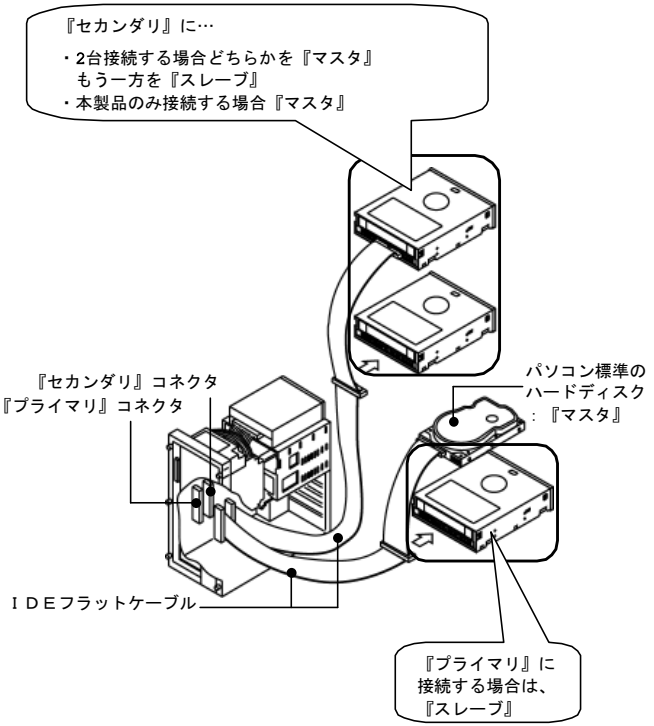
パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。

『プライマリ』（PRIMARY）　→IDE1の場合があります。
『セカンダリ』（SECONDARY）→IDE2の場合があります。

それぞれのコネクタに、IDEフラットケーブル（次ページ参照）を使用して、以下の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

『マスタ』（MASTER）　　『スレーブ』（SLAVE）

接続例



取り付け金具を取り付けよう

取り付け金具の取り付けについて説明します。

取り付け場所について

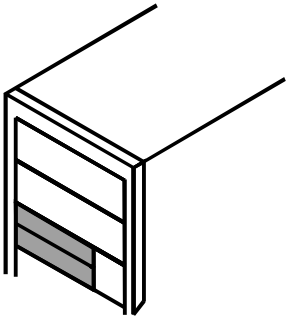
本製品の取り付け場所について説明します。

参考

下図は一般的なパソコンの例です
パソコンによっては別の場所に3.5インチベイや5インチベイがあります。
取り付け場所の位置については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

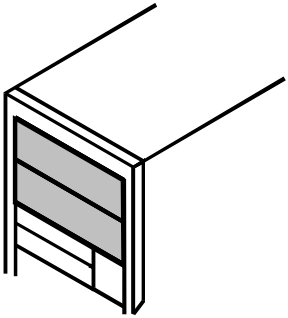
●3.5インチベイ

フロッピーディスクドライブと同じ大きさの内蔵ドライブを取り付けられる場所です。



●5インチベイ（ファイルベイ）

CD-ROMドライブと同じ大きさの内蔵ドライブを取り付けられる場所です。



取り付け金具を選ぶ

本製品は、パソコンによって取り付け場所と使う金具が異なります。

取り付け場所	使う金具
3.5インチベイ	使わない
5インチベイ	5インチベイ用金具

参考

3.5インチベイに取り付ける場合

PC98-NXシリーズの一部機種（MA50J/MZ, MA60J/MZ, MA66T/MZ, MA86T/MZ：2001.10.19現在）では,オプション品の取り付け金具（HDK-NXM）が必要です。詳しくは、HDK-NXMの取扱説明書をご覧ください。

ケーブルについて

パソコンによっては、IDEフラットケーブルに１台のIDE機器のみ取り付け可能な場合があります。その場合は、別途IDEフラットケーブル（弊社製「FL-I40H」など）が必要です。

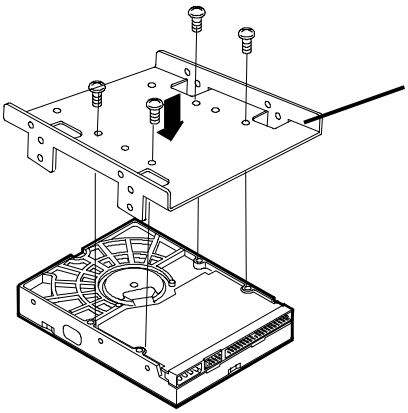
5インチベイ用金具の取り付け方

1 本製品を裏返します。

本製品の基板のある方を上に向けます。

2 5インチベイ用金具を取り付けます。

金具取付用ネジを4個取り付けて、5インチベイ用金具を固定します。



取り付けよう

本製品の取り付けについて説明します。

こちらの注意もご覧ください
【必ずお守りください】(iページ)もご覧の上、取り付けてください。

本書の手順は参考例です
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

取り付け手順は、取り付け場所や使う金具によって異なります。
下表をご覧になり、それぞれにあったページをご覧ください。

取り付け場所	使う金具	取り付け手順	
5インチベイ	5インチベイ金具	【5インチベイに取り付ける】	次ページ
3.5インチベイ	使わない	【金具なしで取り付ける】	16ページ
	HDK-NXM	【HDK-NXMで取り付ける】	18ページ

5インチベイに取り付ける

1 パソコンと全ての周辺機器の電源を切ります。

2 パソコンに接続されている全てのケーブルを取り外します。

3 パソコンのルーフカバーとフロントカバーを取り外します。

パソコンの取扱説明書をご覧になり、ルーフカバーと5インチベイのフロントカバーを取り外します。

4 本製品をパソコン前面から5インチベイに入れます。

5 本製品をパソコンに取り付けます。

① 電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。
コネクタの形を確認し、取り付けてください。

② 本製品にIDEフラットケーブルを取り付けます。
IDEフラットケーブルのコネクタと本製品のコネクタの形を確認して、確実に奥まで挿入します。

③ 本製品を5インチベイに固定します。
本製品と5インチベイのネジ穴が合うように、本製品を5インチベイに押し込み、添付の本体装着用ネジで固定します。



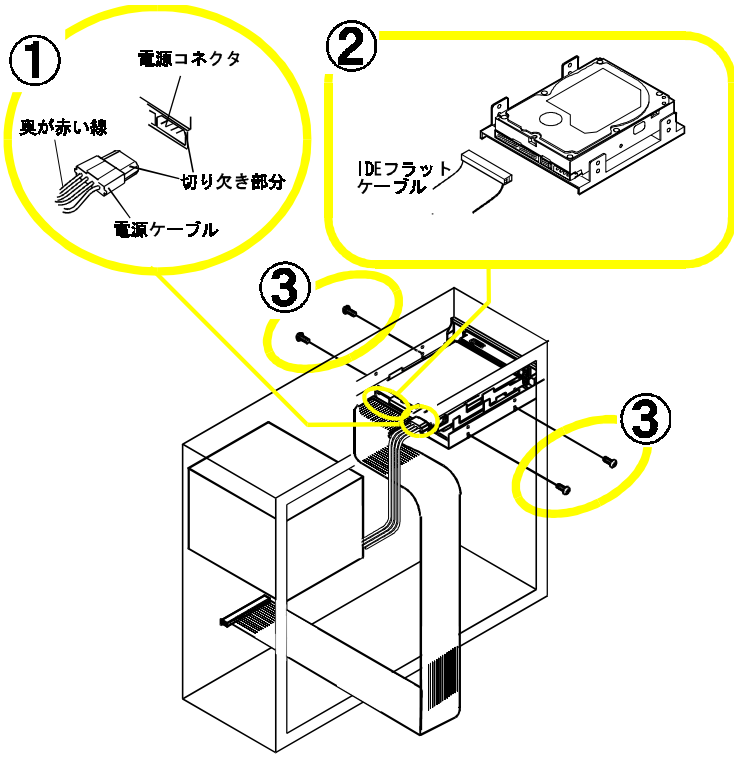
IDEフラットケーブルについて

ケーブルによっては、コネクタが１つだけ付いている物があります。
また、短すぎて本製品まで届かない場合もあります。
そのような場合は、別途IDEフラットケーブルを用意してください。
弊社 オプションケーブルについては、【別売オプション品】(63ページ)をご覧ください。

6 ルーフカバーとフロントカバーを取り付けます。

パソコンの取扱説明書をご覧ください。

7 取り外した全てのケーブルをパソコンに取り付けます。



以上で、取り付けは終了です。

参考

本製品はフォーマットされています

本製品は、FAT32の基本MS-DOS領域にてフォーマットされた状態で出荷されています。

Windows XP/2000/Me/98

本製品は取り付けるだけでお使いいただけます。

Windows NT 4.0

フォーマットが必要です。【Windows NT 4.0でフォーマットする】(52ページ)の作業を行ってください。

Windows Me/98で、他の機器のドライブ文字が変わる場合があります

特に、他のハードディスクのドライブ文字を変えたくない場合は、【●本製品を拡張MS-DOS領域で確保する】(45ページ)の作業を行ってください。

本製品を起動用として使うことも出来ます

詳しくは、【本製品を起動用として使う】(54ページ)をご覧ください。

金具なしで取り付ける

1 パソコンと全ての周辺機器の電源を切ります。

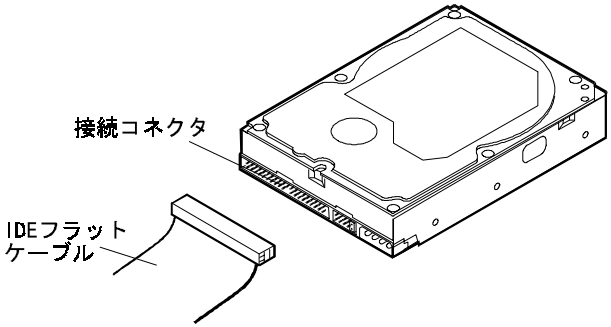
2 パソコンに接続されている全てのケーブルを取り外します。

3 ルーフカバーを取り外します。

パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 本製品にIDEフラットケーブルを取り付けます。

IDEフラットケーブルのコネクタと本製品のコネクタの形を確認して、確実に奥まで挿入します。



参考

IDEフラットケーブルについて

ケーブルによっては、コネクタが１つだけ付いている物があります。
また、短すぎて本製品まで届かない場合もあります。
そのような場合は、別途IDEフラットケーブルを用意してください。
弊社 オプションケーブルについては、【別売オプション品】(63ページ)をご覧ください。

5 本製品をパソコンにゆっくりと途中まで入れます。

6 パソコン内部の電源ケーブルを、本製品に接続します。

7 本製品を金具取付用ネジで固定します。

8 ルーフカバーを取り付けます。

パソコンの取扱説明書をご覧ください。

9 取り外した全てのケーブルをパソコンに取り付けます。

以上で、取り付けは終了です。



本製品はフォーマットされています

本製品は、FAT32の基本MS-DOS領域にてフォーマットされた状態で出荷されています。

Windows XP/2000/Me/98

本製品は取り付けるだけでお使いいただけます。

Windows NT 4.0

フォーマットが必要です。【Windows NT 4.0でフォーマットする】(52ページ)の作業を行ってください。

Windows Me/98で、他の機器のドライブ文字が変わる場合があります

特に、他のハードディスクのドライブ文字を変えたくない場合は、【Windows Me/98でフォーマットする】(43ページ)の作業を行ってください。

本製品を起動用として使うことも出来ます

詳しくは、【本製品を起動用として使う】(54ページ)をご覧ください。

HDK-NXMで取り付ける

取り付け方法については、各取扱説明書に記載されています。
そちらをご覧ください。

取り付け後、下の参考をご覧ください。



本製品はフォーマットされています

本製品は、FAT32の基本MS-DOS領域にてフォーマットされた状態で出荷されています。

Windows XP/2000/Me/98

本製品は取り付けるだけでお使いいただけます。

Windows NT 4.0

フォーマットが必要です。【Windows NT 4.0でフォーマットする】(52ページ)の作業を行ってください。

Windows Me/98で、他の機器のドライブ文字が変わる場合があります

特に、他のハードディスクのドライブ文字を変えたくない場合は、
【Windows Me/98でフォーマットする】(43ページ)の作業を行ってください。

本製品を起動用として使うことも出来ます

詳しくは、【本製品を起動用として使う】(54ページ)をご覧ください。

Macintoshで使う

本製品を設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・・２０

本製品を設定する方法を説明します。

取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・２１

本製品をパソコンに取り付けます。

初期化しよう ・・・・・・・・・・・・・・・２５

本製品を初期化します。

本製品を設定しよう

本製品を設定する方法を説明します。

設定方法

「ジャンパスイッチ」により、本製品を「スレーブ」に設定します。
詳しくは、添付の冊子「UHDIシリーズの仕様」をご覧ください。

取り付けよう

本製品の取り付けについて説明します。

こちらの注意もご覧ください
【必ずお守りください】(iページ)もご覧の上、取り付けてください。

本書の手順は参考例です
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンと全ての周辺機器の電源を切ります。

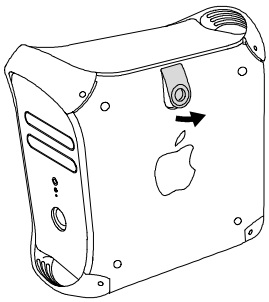
2 パソコンに接続されている全てのケーブルを取り外します。

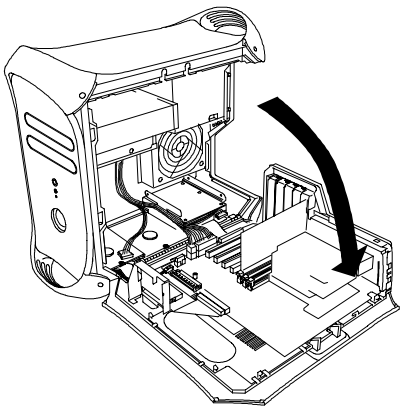
3 柔らかい布などを側面パネルの横に置きます。

側面パネルを上に載せるために、柔らかい布などを側面パネルの横に置きます。

4 側面パネルを開きます。

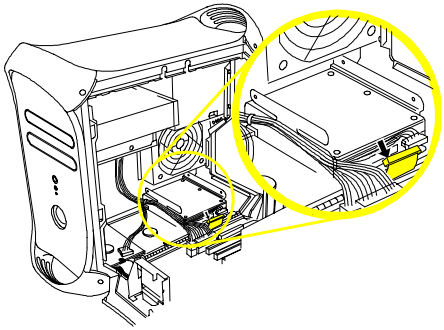
側面パネルの固定具を引き出し、側面パネルを平らな場所におろします。





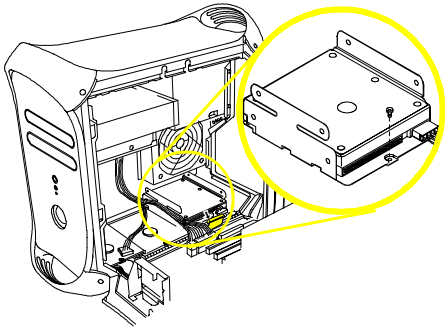
5 内蔵ハードディスクのリボンケーブルを取り外します。

コネクタ部分を持って、まっすぐ取り外してください。



6 ドライブキャリアを取り外します。

固定しているネジを外し、斜め上にゆっくりと引き出します。



電源ケーブルにご注意ください

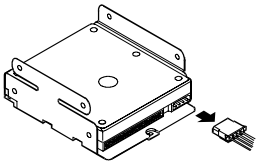
ドライブキャリアはゆっくりと取り外してください。
内蔵ハードディスクには、まだ電源ケーブルが接続されていますので、電源ケーブルを痛めるおそれがあります。

ドライブキャリア

内蔵ハードディスクが固定されている金具です。

7 内蔵ハードディスクの電源ケーブルを取り外します。

コネクタ部分を持って、取り外してください。

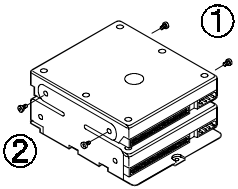


電源ケーブルはしっかり固定されています

取り外すには、強く引く必要があります。
必ずコネクタ部分を持ち、ケーブルを引っぱらないようにご注意ください。

8 本製品をドライブキャリアの上段に取り付けます。

① ドライブキャリアの片側（段のある方）を先にネジで固定します。
② ドライブキャリアのもう片側をネジで固定します。
その際、ドライブキャリアの金具が曲がってしっかり固定されるまでネジをしっかり締めてください。



9 内蔵ハードディスクのみ電源ケーブルを取り付けます。

電源ケーブルの端のコネクタを、内蔵ハードディスクに取り付けます。

本製品に電源ケーブルを取り付ける作業は後で行います

ここで本製品に電源ケーブルを取り付けない方が、作業を楽に行えます。

10 ドライブキャリアを元の位置に戻します。

① 取り外したときのように、斜めにドライブキャリアを戻し、それから奥まで押し込んでください。
その際、ドライブキャリアの底にあるツメが正しく収まるようにしてください。
② 手順**6**で取り外したネジで、ドライブキャリアを固定します。

11 本製品に電源ケーブルを取り付けます。

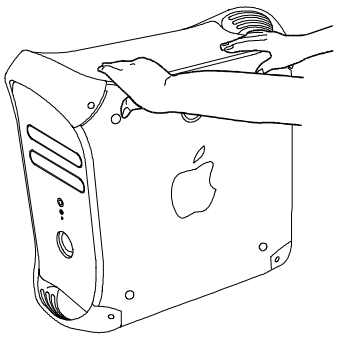
電源ケーブルのもう一つのコネクタを、本製品に取り付けます。

12 ハードディスクにリボンケーブルを取り付けます。

① 内蔵ハードディスクにリボンケーブルの端のコネクタを取り付けます。
② 本製品にリボンケーブルのもう一つのコネクタを取り付けます。

13 側面パネルを閉じます。

側面パネルを持ち上げ、上の2つのネジに親指を当てながら強めに押し、しっかりと閉じます。



注意

ケーブルをはさまないようにご注意ください

ケーブルをはさむと、はさまれたケーブルが破損するおそれがあります。

14 取り外した全てのケーブルをパソコンに取り付けます。

以上で、取り付けは終了です。次に、本製品を初期化します。

注意

本製品を必ず初期化してください

Mac OSによっては、本製品をそのまま使えますが、初期化しないと、パソコンの起動に時間がかかったり、データを正しく保存できないなどの問題が発生するおそれがあります。

パソコンの起動に時間がかかる

環境によっては、本製品を初期化するまでは起動に長い時間（約10分）かかる場合があります。
本製品を初期化すれば、通常通り起動するようになります。

初期化しよう

本製品を初期化します。



初期化する前に

初期化すると、本製品に入っているデータはすべて消えます。
本製品に必要なデータがある場合は、そのデータを他の場所に保存してから初期化してください。

初期化手順は、お使いのMac OSによって異なります。
下表をご覧になり、それぞれにあったページをご覧ください。

Mac OS		初期化手順	
Mac OS X	10.1 ～ 10.2	【Mac OS 10.1 ～ 10.2で初期化する】	次ページ
	10.0.3, 10.0.4	【Mac OS 10.0.3, 10.0.4で初期化する】	28ページ
Mac OS 8/9		【Mac OS 8/9で初期化する】	30ページ

Mac OS 10.1 ～ 10.2で初期化する

1 [Applications] を開きます。

①起動ボリュームのアイコンをダブルクリックします。
②［アプリケーション］ボタンをクリックします。

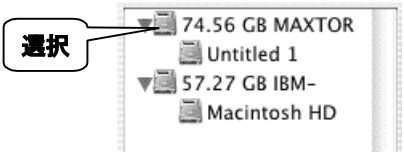
2 [Disk Utility] を起動します。

［Utilities］フォルダー→［Disk Utility］の順にダブルクリックします。



3 本製品を選択します。

本製品を見分ける方法については、下の参考をご覧ください。



本製品を見分ける方法

ハードディスク左側にある▶をクリックしたとき、［Untitled 1］と下に表示されるハードディスクが本製品です。

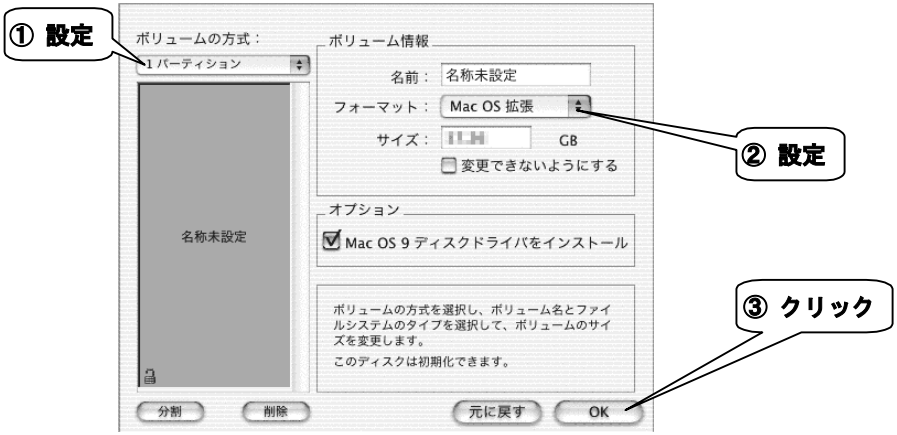
※ 本製品の名称は、製品によって異なります。

4 ［パーティション］タブをクリックします。



5 本製品を初期化します。

① ［ボリュームの方式］を［1パーティション］に設定します。
② ［フォーマット］を［Mac OS拡張］に設定します。
③ ［OK］ボタンをクリックします。

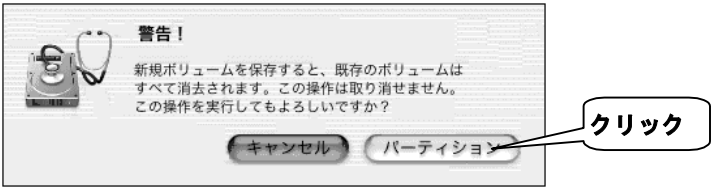


［UNIXファイルシステム］には設定しないでください
UNIXファイルシステムには対応しておりません。

パーティションを分けないでください
パーティションの分割には対応しておりません。

6 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。



以上で本製品を初期化できました。
本製品は、このままお使いいただけます。

Mac OS 10.0.3, 10.0.4で初期化する

1 [Applications] を開きます。

①起動ボリュームのアイコンをダブルクリックします。
②［アプリケーション］ボタンをクリックします。

2 [Disk Utility] を起動します。

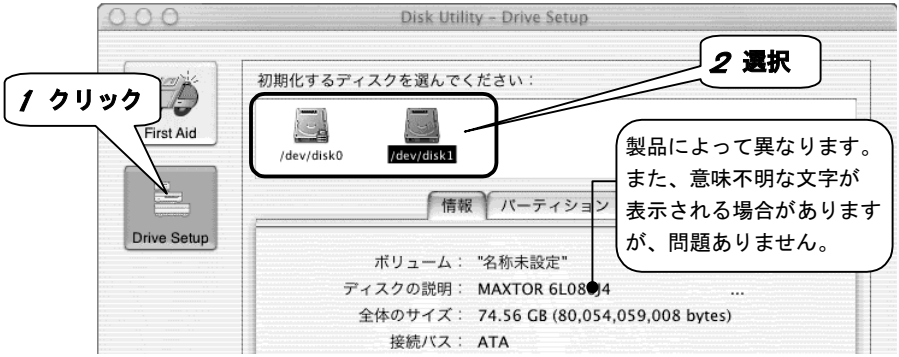
［Utilities］フォルダー→［Disk Utility］の順にダブルクリックします。



3 [Drive Setup] ボタンをクリックします。

4 本製品を選択します。

本製品を見分ける方法については、下の参考をご覧ください。



参考

本製品を見分ける方法

本製品を選択したとき、下の［情報］タブに下記のように表示されます。

ボリューム：”名称未設定”
接続バス：ATA

5 ［パーティション］タブをクリックします。

6 本製品を初期化します。

①［パーティション方式］を［1パーティション］に設定します。
②［タイプ］を［Mac OS拡張］に設定します。
③［パーティション］ボタンをクリックします。

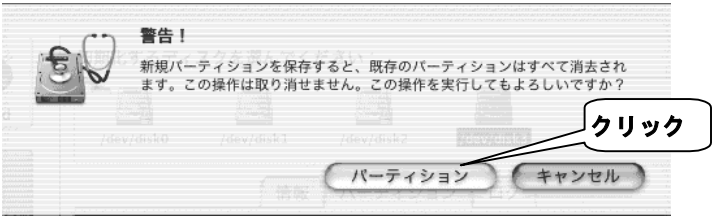


［UNIXファイルシステム］には設定しないでください
UNIXファイルシステムには対応しておりません。

パーティションを分けないでください
パーティションの分割には対応しておりません。

7 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。

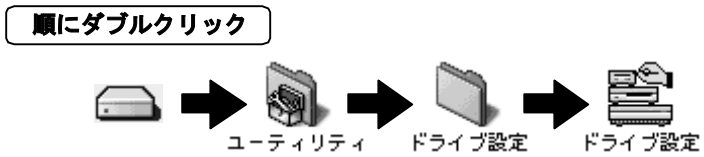


以上で本製品を初期化できました。
本製品は、このままお使いいただけます。

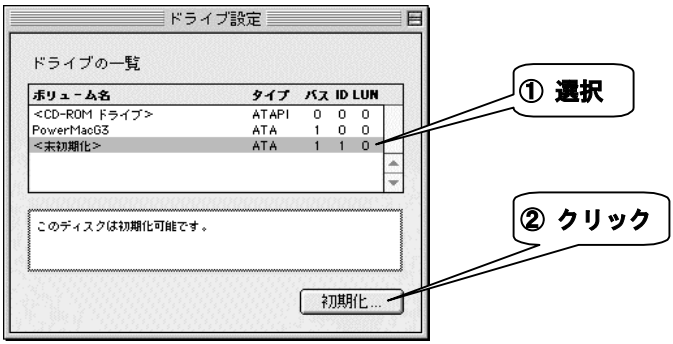
Mac OS 8/9で初期化する

1 ［ドライブ設定］を開きます。

起動ボリューム→［ユーティリティ］→［ドライブ設定］→［ドライブ設定］の順にダブルクリックします。



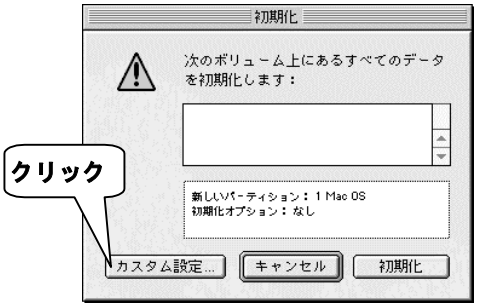
2 本製品を選択します。



本製品を見分ける方法

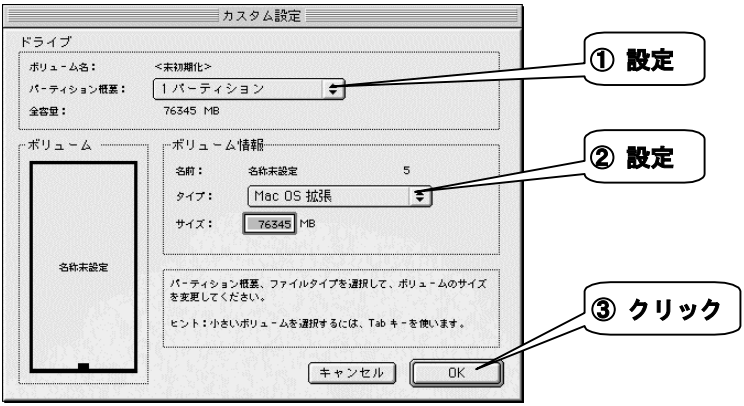
［ボリューム名］が<未初期化>となっているものが、本製品です。

3 ［カスタム設定］ボタンをクリックします。



4 初期化の設定をします。

① ［ボリューム概要］を［1パーティション］に設定します。
② ［タイプ］を［Mac OS 拡張］に設定します。
③ ［OK］ボタンをクリックします。

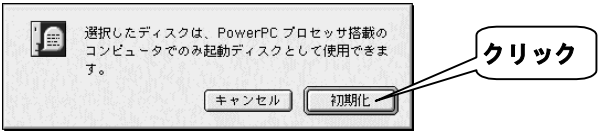


5 ［初期化］ボタンをクリックします。



6 ［初期化］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。



以上で本製品を初期化できました。
本製品は、このままお使いいただけます。

Memo

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・ 34

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

フォーマットしよう ・・・・・・・・・・・・・・・ 37

本製品をフォーマットします。

パーティションの基礎知識 ・・・・・・・・・・・・・・・ 58

パーティションの基礎知識について説明します。

別売オプション品 ・・・・・・・・・・・・・・・ 63

弊社の別売オプション品について説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

パソコンが起動途中で止まってしまう

原因１ 本製品か他の機器が正しく接続されていない

パソコンおよびすべての周辺機器の電源を切り、本製品を含むすべての機器の接続（ケーブルなど）を確認してください。

原因２ 本製品が正しく設定されていない

【本製品を設定しよう】(10ページ)をご覧ください。
パソコンの取扱説明書に『ケーブルセレクト』に設定すると書いてある場合は、本製品を『ケーブルセレクト』に設定します。

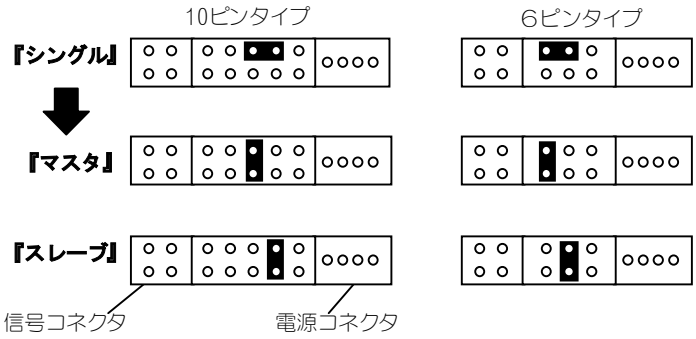
原因３ 内蔵ハードディスクの設定を変える必要がある

パソコンの内蔵ハードディスクが『シングル』設定になっている場合には、内蔵ハードディスクの設定を『マスタ』に変更してください。

参考

参考例：Western Digital社製ハードディスクの設定

この設定は、本製品の設定ではありません。



［マイコンピュータ］に本製品のアイコンが表示されない

原因１ **本製品が正しく取り付けられていない**

【取り付けよう】(13ページ)をご覧ください。

原因２ **本製品が正しく設定されていない**

【本製品を設定しよう】(10ページ)をご覧ください。
パソコンの取扱説明書に『ケーブルセレクト』に設定すると書いてある場合は、本製品を『ケーブルセレクト』に設定します。

原因３ **内蔵ハードディスクの設定を変える必要がある**

【パソコンが起動途中で止まってしまう】(34ページ)の原因３をご覧ください。

エラーが表示され、スキャンディスクをかけられない

原因 **Windows 98(SE含む)で137Gバイト以上のパーティションにスキャンディスクをかけようとしている**

Windows 98(SE含む)では、137Gバイト以上のパーティションにスキャンディスクをかけられません。
【●本製品を拡張MS-DOS領域で確保する】(45ページ)の作業内で、パーティションを137Gバイト未満に設定してください。

・FDISKで[5]の項目が表示されない
・FDISKで本製品が表示されない

原因 **本製品が認識されていない**

【パソコンが起動途中で止まってしまう】(34ページ)をご覧ください。

ディスクの管理でフォーマット時に、パーティションのサイズをマウスで設定できない(Windows XP/2000のみ)

原因 **容量によっては、マウスで設定できない**

137Gバイト以上のハードディスクをお使いの場合は、キーボードを使って設定してください。

「Disk First Aid」で意味不明な文字が表示されたり、エラーが発生する(Mac OS Xのみ)

原因 **ボリューム（パーティション）の名前に日本語が使われている**

意味不明な文字が表示されるだけの場合は、動作に問題はありません。
エラーが表示される場合は、半角英数字のみを使って名前を付けてください。

UIDE-133に接続して使っていると、B.H.A.社製「B'sCrew for Windows」が正常に起動しない

原因 **バージョンアップをお待ちください**

弊社製 Ultra ATA/133対応インターフェイスボード「UIDE-133」をお使いの場合、「B'sCrew for Windows」が正常に起動しないという現象が判明いたしました。

現在、原因を調査の上、ソフトウェアのバージョンUPによる対応を予定しております。
最新情報は、弊社ホームページ内のUIDE-133製品紹介ページにてご覧いただきますようお願い申し上げます。

フォーマットしよう

本製品をフォーマットします。

フォーマットする前に

フォーマットすると、本製品に入っているデータはすべて消えます。
本製品に必要なデータがある場合は、そのデータを他の場所に保存してからフォーマットしてください。

パーティションについて

フォーマットの際に、「パーティション」の知識が必要となります。
詳しくは、【パーティションの基礎知識】(58ページ)をご覧ください。

Mac OSでの初期化について

【初期化しよう】(25ページ)をご覧ください。

フォーマット手順は、お使いのOSによって異なります。
下表をご覧になり、それぞれにあったページをご覧ください。

お使いのOS	取り付け手順	
Windows XP	【Windows XPでフォーマットする】	次ページ
Windows 2000	【Windows 2000でフォーマットする】	41ページ
Windows Me/98	【Windows Me/98でフォーマットする】	43ページ
Windows NT 4.0	【Windows NT 4.0でフォーマットする】	52ページ

Windows XPでフォーマットする

コンピュータの管理者でログオンしてください

Windows XPでハードディスクをフォーマットする場合は、コンピュータの管理者グループに属したユーザーでログオンする必要があります。

Windows Me/98と併用する場合は･･･

Windows Me/98で本製品のフォーマットを行ってください。
Windows XPでフォーマットするとWindows Me/98で認識されない場合があります。詳細は、【パーティションの基礎知識】(58ページ)を参照してください。

1 「コンピュータの管理」を起動します。

①［スタート］ボタンをクリックします。
②表示された［マイコンピュータ］を右クリックします。
③表示された［管理］をクリックします。
⇒［コンピュータの管理］が起動されます。



2 ［ディスクの管理］をクリックします。

3 フォーマットしたいハードディスクを右クリックします。

4 ［フォーマット］をクリックします。



5 フォーマットします。

①［ファイルシステム］を［NTFS］に設定します。

②［クイックフォーマットする］をチェックします。

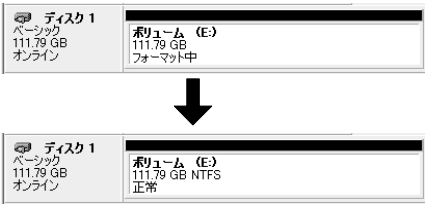
③［OK］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが始まります。



6 フォーマットされます。

［フォーマット中］が［正常］になるまでお待ちください。



7 ［コンピュータの管理］を閉じます。

☒ ボタンをクリックします。

以上で本製品はフォーマットされました。
本製品をお使いいただけます。

Windows 2000でフォーマットする

Administratorでログオンしてください

Windows 2000でハードディスクをフォーマットする場合は、Administratorグループに属したユーザーでログオンする必要があります。

Windows Me/98と併用する場合は･･･

Windows Me/98で本製品のフォーマットを行ってください。
Windows 2000でフォーマットするとWindows Me/98で認識されない場合があります。詳細は、【パーティションの基礎知識】(58ページ)を参照してください。

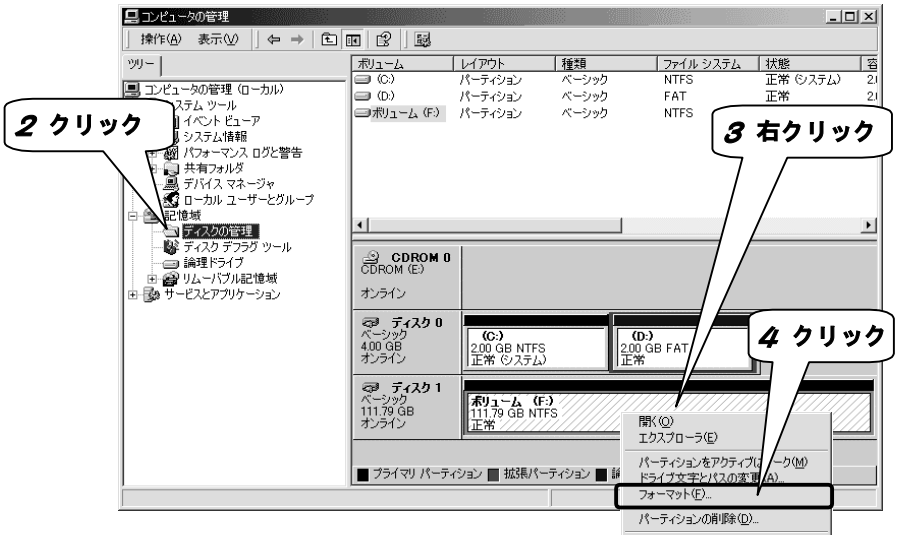
1 「コンピュータの管理」を起動します。

① ［マイコンピュータ］を右クリックします。
② 表示された［管理］をクリックします。
⇒［コンピュータの管理］が起動されます。

2 ［ディスクの管理］をクリックします。

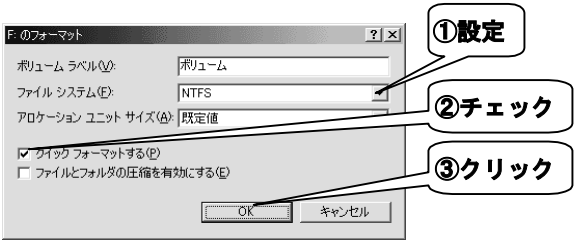
3 フォーマットしたいハードディスクを右クリックします。

4 ［フォーマット］を選択します。



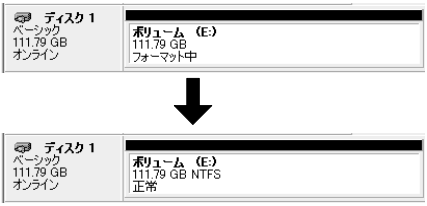
5 フォーマットします。

① ［ファイルシステム］を［NTFS］に設定します。
② ［クイックフォーマットする］をチェックします。
③ ［OK］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットが始まります。



6 フォーマットされます。

［フォーマット中］が［正常］になるまでお待ちください。



7 ［コンピュータの管理］を閉じます。

ボタンをクリックします。

以上で本製品はフォーマットされました。
本製品をお使いいただけます。

Windows Me/98でフォーマットする

作業	
【●Windowsでフォーマットする】	本ページ
【●本製品を拡張MS-DOS領域で確保する】	45ページ

●Windowsでフォーマットする

1 本製品のアイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、「マイコンピュータ」を開きます。

表示されたドライブアイコンの中から本製品のアイコンを確認します。

他のハードディスクのドライブ文字

フォーマット終了後、他のハードディスクのドライブ文字が元の環境のままであることをご確認ください。

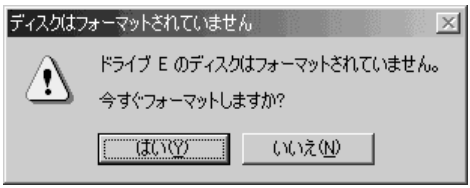
本製品のアイコンの確認方法

ハードディスクのアイコンをダブルクリックしてください。

それによって、下記のように表示されたら、本製品のアイコンです。

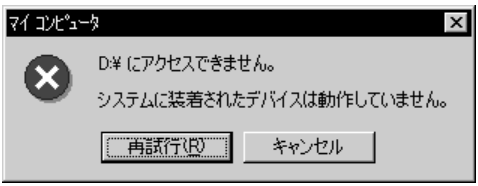
Windows Meの場合

［はい］ボタンをクリックして、その後手順3にお進みください。



Windows 98の場合

［キャンセル］ボタンをクリックして、エラー画面を閉じてください。



2 表示された［フォーマット］をクリックします。

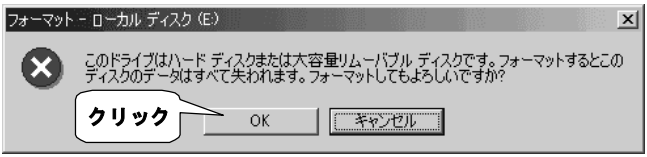
本製品のアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

3 ［通常のフォーマット］でフォーマットします。

［通常のフォーマット］を選び、［開始］ボタンをクリックします。



4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 フォーマットが終わったら、スキャンディスクをします。

フォーマットが終わると、画面上に結果とヘルプが表示されます。
ヘルプの指示にしたがって、スキャンディスクを実行してください。

6 パソコンを再起動します。

スキャンディスクが終わったら、パソコンを再起動します。

以上で本製品はフォーマットされました。

●本製品を拡張MS-DOS領域で確保する

ここでは、本製品を拡張MS-DOS領域に変える方法を説明します。
本製品は基本MS-DOS領域でフォーマットされているため、取り付けると他のハードディスクのドライブ文字が変わる場合があります。
ドライブ文字を変えたくない場合は、本作業を行ってください。



Windows 98（SEを含む）をお使いの場合
こちらをご覧になり、FDISKのアップデートを行ってください。
http://www.microsoft.com/japan/support/kb/articles/jp263/0/44.htm

ドライブ文字が変わると･･･
アプリケーションが起動しなくなったり、ショートカットが働かなくなる場合があります。

1 Windows上でドライブ文字を確認します。

Windows上で［マイコンピュータ］を開き、本製品のドライブ文字を確認します。



ドライブ文字
アイコンの名前のあとに表示される、（）に囲まれたアルファベット。
Windowsに認識されたドライブ全てに表示される。

2 パソコンを「Command Prompt Only」で起動します。

Windows Meの場合

Windows Meの起動ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、パソコンの電源を入れます。
メニューが表示されたら、「3」と入力して［Enter］キーを押します。

Windows 98の場合

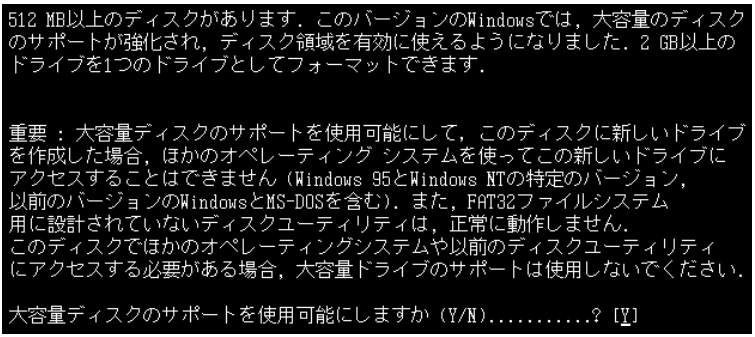
［Ctrl］キーを押したまま、パソコンの電源を入れます。
メニューから［Command Prompt Only］を選択します。
※メニューが表示されない時は、パソコンが起動している途中で［Ctrl］キーを押したり、はなしたりしてください。

Windows Meの起動ディスクを作るには

①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を開きます。
②［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。
③［起動ディスク］タブをクリックします。
④フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入して、
［ディスクの作成］ボタンをクリックします。
※Windows MeのCD-ROMを要求されることがあります。
⑤「このディスクのファイルは全て削除されます」という内容のメッセージが表示されるので、［OK］ボタンをクリックします。
⑥進行状況の表示が消えたら、［OK］ボタンをクリックします。

3 FDISKと入力し、［Enter］キーを押します。

4 「Y」を入力して［Enter］キーを押します。



5 「現在のハードディスクドライブを変更」を選択します。

「5」（現在のハードディスクドライブを変更）を入力し、［Enter］キーを押します。

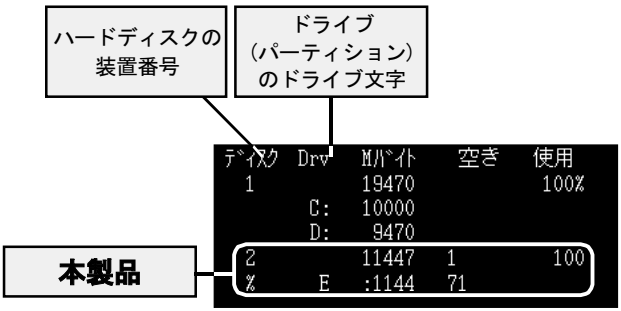
［5］（現在のハードディスクドライブを変更）の表示がない

［Esc］キーでFDISKを終了し、【パソコンが起動途中で止まってしまう】(34ページ)をご覧ください。

6 本製品を選択します。

手順 **1** で確認したドライブ文字を持つドライブが本製品です。
その装置番号を入力して、［Enter］キーを押します。

確認したドライブ文字が「E」の場合



使っていないドライブがない場合
［Esc］キーでFDISKを終了し、【パソコンが起動途中で止まってしまう】（34ページ）をご覧ください。

表示について
本製品の容量によっては、FDISK内の表示がずれたり、末尾が表示されない場合があります。
その場合でも問題なくお使いいただけます。

7 「領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択します。

「3」（領域または論理MS-DOSドライブを削除）を入力し、［Enter］キーを押します。

8 「基本MS-DOS領域を削除」を選択します。

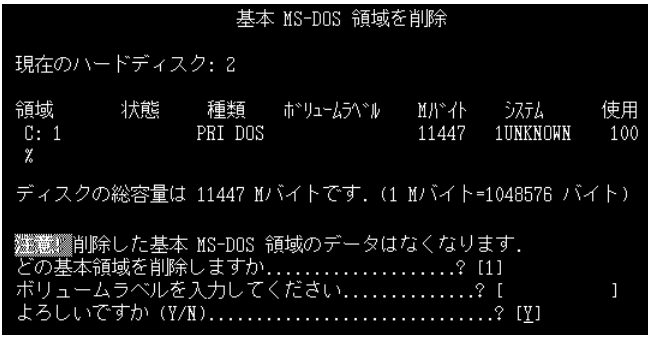
「1」（基本MS-DOS領域を削除）を入力し、［Enter］キーを押します。

9 本製品の基本MS-DOS領域を削除します。

①「1」を入力し、［Enter］キーを押します。

②［Enter］キーを押します。

③「Y」を入力し、［Enter］キーを押します。



表示について

本製品の容量によっては、FDISK内の表示がずれたり、末尾が表示されない場合があります。

その場合でも問題なくお使いいただけます。

10 「MS-DOS領域または論理MS-DOS･･･」を選択します。

「1」（MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成）を入力し、［Enter］キーを押します。

11 「拡張MS-DOS領域を作成」を選択します。

「2」（拡張MS-DOS領域を作成）を入力し、［Enter］キーを押します。

12 「100%」と入力し、［Enter］キーを押します。

［Back Space］キーで数字を削除してから、「100%」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
ディスクの総容量は 11447 Mバイトです.（1 Mバイト=1048576 バイト）
領域に割り当て可能な最大領域は 11446 Mバイト(3100%) です.


領域のサイズを Mバイトか全体に対する割合で(%)入力してください.
拡張 MS-DOS 領域を作ります.................................: [ 100%]
```

注意

「領域のサイズ」の入力方法について

必ず［%］で入力してください。
サイズをそのまま入力する方法では、正しく入力できません。
（例：100パーセントを指定したい場合は、「100%」と入力します。）

参考

「領域のサイズ」について

本製品の容量を、拡張MS-DOS領域でどれだけ使うかという設定です。
本手順では、最大容量を割り当てています。
ここに最大容量を割り当てなかった場合、残りの容量は使えなくなります。

表示について

本製品の容量によっては、FDISK内の表示がずれたり、末尾が表示されない場合があります。
その場合でも問題なくお使いいただけます。

13 下のような画面が表示されたら、［Esc］キーを押します。

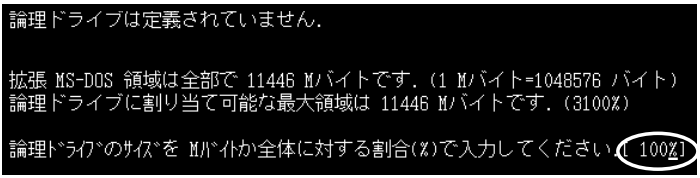
```
領域      状態     種類    ﾎﾞﾘｭｰﾑﾗﾍﾞﾙ    Mﾊﾞｲﾄ    ｼｽﾃﾑ      使用
   1              EXT DOS                11446   3UNKNOWN    100
 %

拡張 MS-DOS 領域を作成しました.


続けるには Esc キーを押してください._
```

14 作成する「論理ドライブ」の容量を入力します。

［Back Space］キーで数字を削除してから、「100%」と入力し、［Enter］キーを押します。



手順*14*の画面が表示されなかった場合

手順*10*～*11*の作業をすれば、手順*14*の画面が表示されます。

「論理ドライブのサイズ」の入力方法について

必ず［%］で入力してください。

サイズをそのまま入力する方法では、正しく入力できません。

（例：100パーセントを指定したい場合は、「100%」と入力します。）

「論理ドライブのサイズ」について

拡張MS-DOS領域の中にどれだけの大きさのドライブ（パーティション）を作るかという設定です。

ここでは、最大を割り当てて本製品を１つのドライブとして使います。

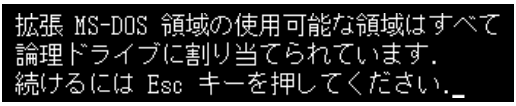
表示について

本製品の容量によっては、FDISK内の表示がずれたり、末尾が表示されない場合があります。

その場合でも問題なくお使いいただけます。

15 ［Esc］キーを押します。

下のように表示されますので、［Esc］キーを押します。



16 FDISKを終了します。

さらに、［Esc］キーを3回押します。

17 Windows Meの場合は、起動ディスクを取り出します。

18 パソコンを再起動します。

［Ctrl］+［Alt］+［Delete］キーを同時に押し、パソコンを再起動します。

以上で本製品は、基本MS-DOS領域から拡張MS-DOS領域に変更されました。
この後、【●Windowsでフォーマットする】(43ページ)の作業を行ってください。



他のハードディスクのドライブ文字

フォーマット終了後、他のハードディスクのドライブ文字が元の環境のままであることをご確認ください。

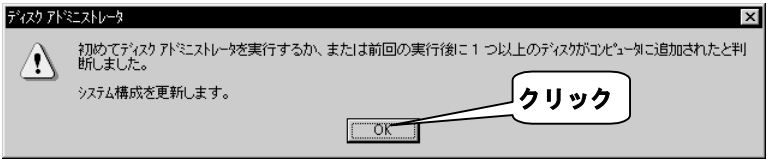
Windows NT 4.0でフォーマットする

Administratorでログオンしてください
Windows NTでハードディスクをフォーマットする場合は、Administratorでログオンする必要があります。

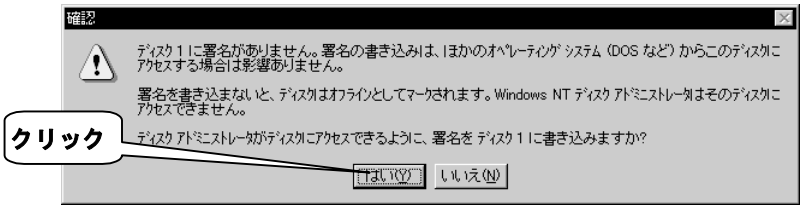
1 「ディスクアドミニストレータ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［管理ツール（共通）］→［ディスクアドミニストレータ］の順にクリックします。

2 [OK] ボタンをクリックします。



3 [はい] ボタンをクリックします。



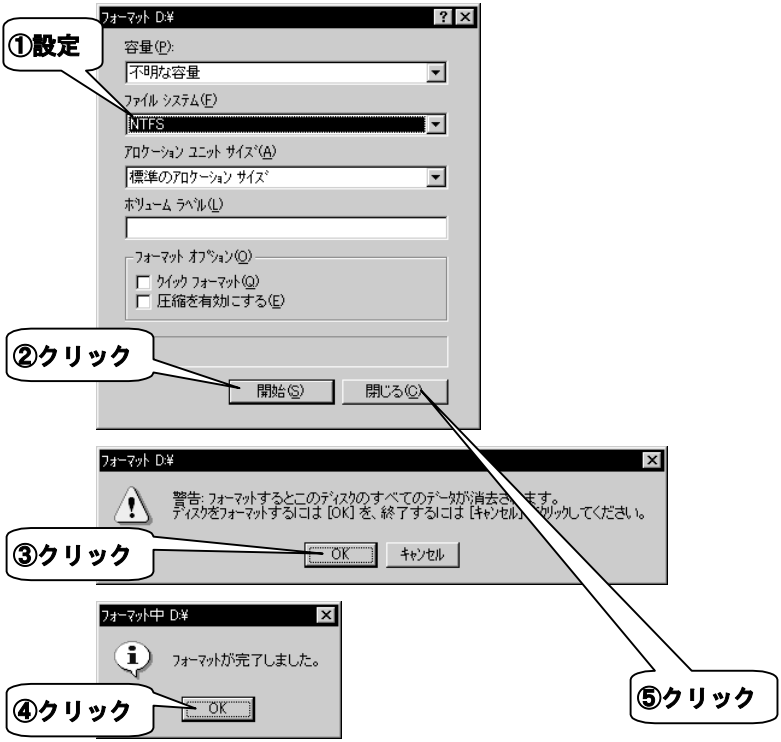
4 本製品内をフォーマットします。

本製品を選び、［ツール］→［フォーマット］の順にクリックします。

本製品の見分け方
［不明］と表示されたドライブが本製品です。

5 本製品をフォーマットします。

① ［ファイルシステム］を［NTFS］に設定します。
② ［開始］ボタンをクリックします。
③ ［OK］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットが開始されます。
④ ［OK］ボタンをクリックします。
⑤ ［閉じる］ボタンをクリックします。
⇒フォーマット画面が閉じられます。



本製品を起動用として使う

パソコンの起動用ハードディスクの内容をコピーし、本製品を起動用として使う方法を説明します。



Windows Me/98以外のOSをお使いの場合

この作業で使用する「B'sCrew for Windows」は、Windows Me/98用です。
それ以外のOSでは、本作業を行えません。
※ OSのインストール方法は、お使いの環境によって異なる場合があります。
そのため弊社では、OSのインストールについてのサポート・保証はいたしておりません。

137Gバイトを超える本製品をお使いの場合

この作業で使用する「B'sCrew for Windows」は、137Gバイトを超えるハードディスクには対応しておりません。
そのため、137Gバイトを超える本製品では、本作業を行えません。



B'sCrew for Windows

詳しくは、「B'sCrew for Windowsユーザーズマニュアル」と「B'sCrew for Windows ユーザーズマニュアル補足情報」をご覧ください。
※ B'sCrew for Windowsに関するお問い合わせは、本書巻末に記載されているお問い合わせ先にお願いいたします。

Windows Meでお使いの場合

この作業には、Windowsの起動ディスクが必要です。
下記の方法で、Windowsの起動ディスクを作ってください。
① Windows Meを起動します。
② ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。
③ ［起動ディスク］タブをクリックします。
④ ［ディスクの作成］ボタンをクリックします。
後は画面の指示に従って操作してください。

※起動ディスクについて
作成した起動ディスクは「書込み禁止」にしないでください。
また、B'sCrew for Windowsで使った後はパソコンの起動用として使うことはできません。ご注意ください。

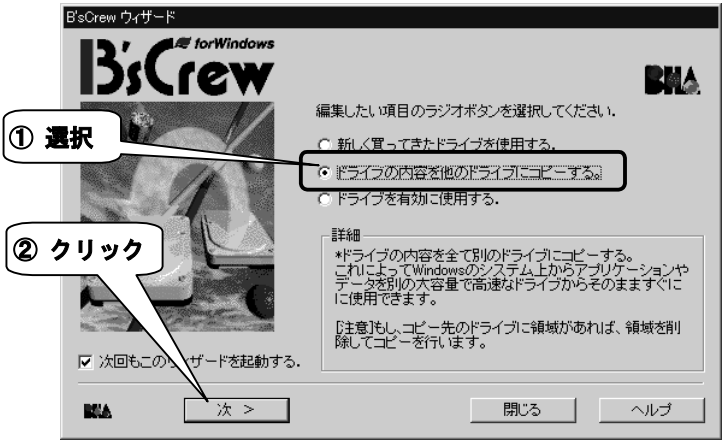
1 B'sCrew for Windowsを起動します。

［スタート］→［プログラム］→［B'sCrew for Windows］→［B'sCrew for Windows］の順にクリックします。

2 ［ドライブの内容を他のドライブにコピーする］を選択します。

① ［ドライブの内容を他のドライブにコピーする］を選択します。

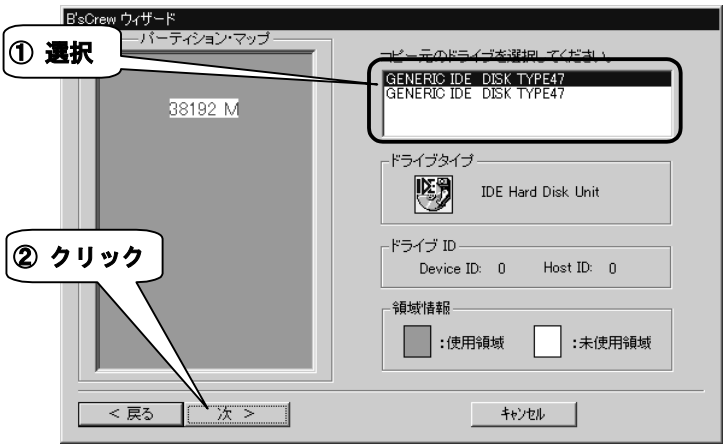
② ［次 >］ボタンをクリックします。



3 コピー元のドライブを選択します。

① コピー元のドライブを選択します。

② ［次 >］ボタンをクリックします。



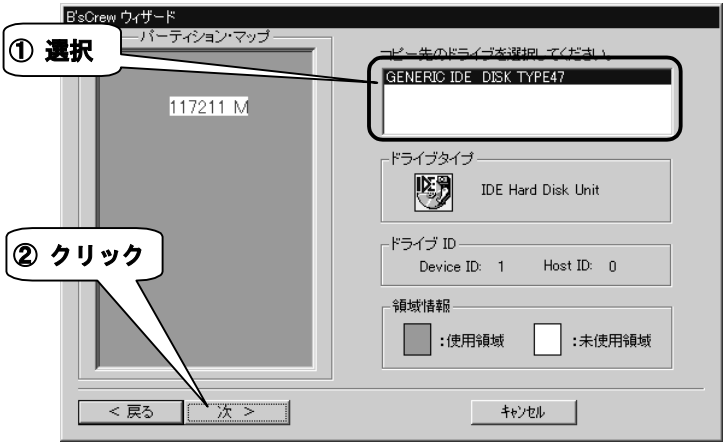
コピー元とコピー先

コピー元に現在の起動用ハードディスクを、コピー先に本製品を指定してください。

4 コピー先のドライブを選択します。

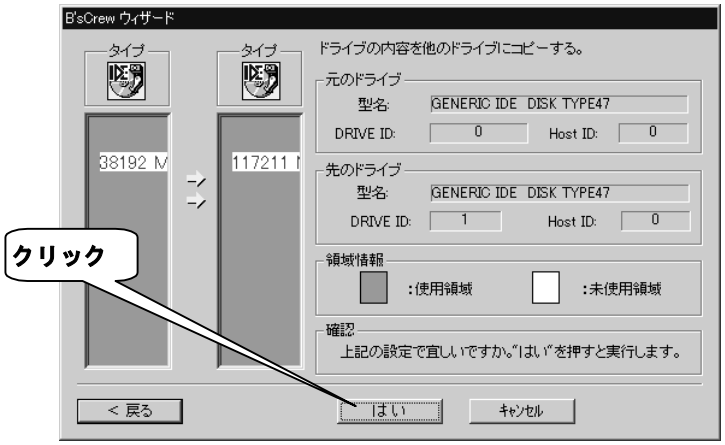
① コピー先のドライブを選択します。

② ［次 >］ボタンをクリックします。



5 コピーの設定を確認します。

内容に問題がなければ、［はい］ボタンをクリックします。



6 [OK] ボタンをクリックします。

⇒コピーが始まります。

コピーが終了するまで、画面の指示に従って操作してください。



Windows Meでお使いの場合

作業中にWindows Meの起動ディスクを要求されます。

7 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

8 起動用ハードディスクを取り外します。

9 本製品を「マスタ」に設定します。

本製品のジャンパスイッチ設定について

添付の「ハードウェア仕様について」をご覧ください。

10 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

11 いつも通りに起動していれば、作業は完了です。

本製品の容量を全て使う

コピーしただけでは、コピー元（起動用ハードディスク）と同じ容量となります。容量を変更したい場合は、「B'sCrew for Windowsユーザーマニュアル」の【CHAPTER 3の2 パーティションを編集する】を参照してください。ただし、容量を変更するパーティションに10%の空き容量が必要です。

取り外した起動用ハードディスクについて

起動用内蔵ハードディスクをそのまま保存しておきますと、何らかのトラブルがあった際に起動用内蔵ハードディスクの内容を再び本製品にコピーすることができます。

起動用内蔵ハードディスクをお使いになる場合は、「プライマリ」に「スレーブ」設定で取り付けてください。

その後、フォーマットしてお使いください。

パーティションの基礎知識

パーティションの基礎知識について説明します。

パーティションを作らないと本製品は使えません

本製品に限らず、通常１台のハードディスクは１つまたはそれ以上のパーティション（区画領域）を作らなければ、使うことができません。

１つのパーティション＝１つのドライブ

ハードディスクのパーティションは、作成したパーティション単位にドライブ名が割り当てられます。

パーティションの種類

●Windows Me/98の場合

パーティションには以下の2つがあります。

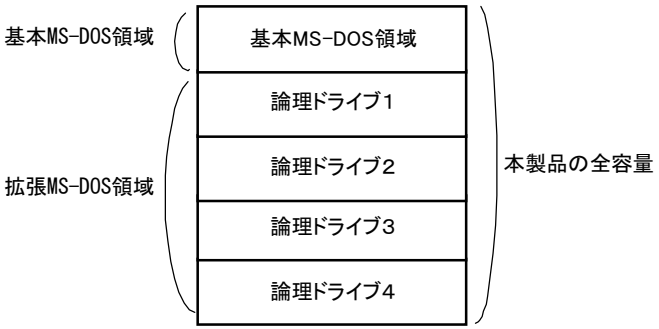
・基本MS-DOS領域

「基本MS-DOS領域」は1つしか作成できません。また、ハードディスクを増設用として使う場合には、「基本MS-DOS領域」を作成せず、「拡張MS-DOS領域（の論理ドライブ領域）」だけを作成することもできます。

・拡張MS-DOS領域の論理ドライブ領域

「拡張MS-DOS領域の論理ドライブ領域」は、「拡張MS-DOS領域」内に作成します。複数作成することができます。

本製品内に「基本MS-DOS領域」が１つと「拡張MS-DOS領域」内に論理ドライブが４つある例



●Windows XP, Windows 2000の場合

パーティションには以下の2つがあります。

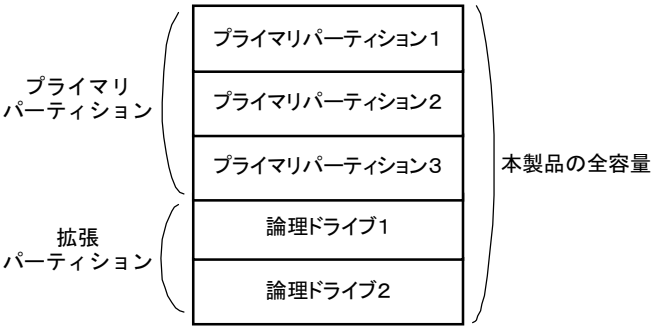
・プライマリパーティション

「プライマリパーティション」は４つまで作ることができます。
ただし、「拡張パーティション」を作る場合は３つまでとなります。

・拡張パーティション

「拡張パーティション」は１つ作ることができます。「拡張パーティション」内に、プライマリパーティションと同じように使える論理ドライブを複数作ることができます。論理ドライブを複数作ることにより、ハードディスクを４つ以上に分けることができます。

本製品内に「プライマリパーティション」が３つと「拡張パーティション」内に論理ドライブが２つある例



ドライブ名が変わることがあります



Windows 2000,Windows NT 4.0を除きます

本ページの内容は、Windows 2000,Windows NT 4.0を除きます。
それらのOSをお使いの場合は、読み飛ばしてください。

●ハードディスクのドライブ名が変わるパターン

・パソコンにすでに接続されているハードディスク

「基本MS-DOS領域」と「拡張MS-DOS領域」がある

・本製品

「基本MS-DOS領域」がある

上の２つの条件が揃った場合、ドライブ名が変わってしまいます。



ドライブ名が変わる理由

「基本MS-DOS領域」は「拡張MS-DOS領域」よりも優先されます。
従って、本製品に「基本MS-DOS領域」があった場合、パソコンにすでに接続されているハードディスク内の「拡張MS-DOS領域」よりも優先されます。
そのため、ドライブ名が変更されます。

ドライブ名を変えたくない場合は

ドライブ名を変えたくない場合は、本製品には「拡張MS-DOS領域」のみを作ってください。

●ハードディスク以外のドライブ名が変わるパターン

例えば、CD-ROMドライブの場合、本製品フォーマット後、取り付けた本製品のドライブ名が内蔵ハードディスクとCD-ROMドライブのドライブ名との間に入ります。



ドライブ名が変わる理由

本製品フォーマット後は、CD-ROMのドライブ番号を指定したバッチファイルなどがある場合は新しいドライブ番号に変更してください。
また、CONFIG.SYSにLASTDRIVEの設定が必要となる場合があります。

ファイルシステムについて

ファイルの管理方式のこと。パーティションは、何らかのファイルシステムを元に作成される。

OS毎の使用できるファイルシステム

OSによって、使用できる（作成できる）ファイルシステムが異なります。
複数のOSでハードディスクを併用する際のパーティションの作成時には、下の表を参照して併用できるファイルシステムを確認してください。

例えば、Windows MeとWindows XPでは、「FAT32」「FAT16(FAT)」のファイルシステムでハードディスクにパーティションを作成（フォーマット）すれば併用できます。（「NTFS」でパーティションを作成すると併用できなくなります。）

使用OS(バージョン)	ファイルシステム				
	NTFS	FAT32	FAT16 (FAT)	HFS+	HFS
Windows XP	○	○※1	○※2	×	×
Windows 2000	○	○※1	○※2	×	×
Windows Me	×	○	○	×	×
Windows 98	×	○	○	×	×
Mac OS 8/9	×	×	○	○	○
Mac OS X	×	×	○	○	○

○：使用可　×：使用不可

※1 作成できる容量は「32Gバイト」までですが、認識できる容量は「2Tバイト」までであることにご注意ください。
※2 他のOSと併用する場合には、１パーティションのサイズを「2,047Mバイト」以下に設定する必要があります。

ファイルシステムとその特徴

ファイルシステム	特徴
NTFS	１パーティションあたりの最大容量は、「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、Windows Me/98などではアクセスできません。
FAT32	**Windows XP/2000** １パーティションあたりの作成できる最大容量は、「約32Gバイト」です。 ただし、Windows Me/98でフォーマットされたFAT32のパーティションを「約2Tバイト」まで認識できます。 **Windows Me/98** １パーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。
FAT16 (FAT)	**Windows XP/2000** １パーティションあたりの最大容量は、「約4Gバイト」です。 ただし、Windows 98などで使用する場合は、「2,047Mバイト」までにする必要があります。 **Windows Me/98** １パーティションあたりの最大容量は、「2,047Mバイト」です。 **Mac OS 8/9, Mac OS X** １パーティションあたりの最大容量は、「2,047Mバイト」です。 ※ 弊社では、Mac OS上での使用をおすすめしません。
HFS+	１パーティションあたりの最大容量は、「約2Tバイト」です。
HFS	１パーティションあたりの最大容量は、「約2Tバイト」です。



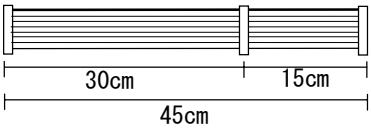
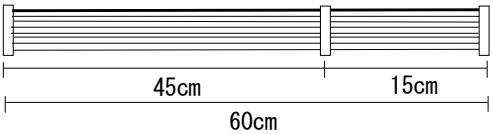
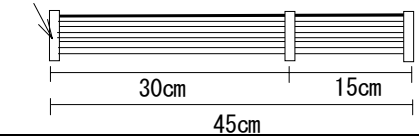
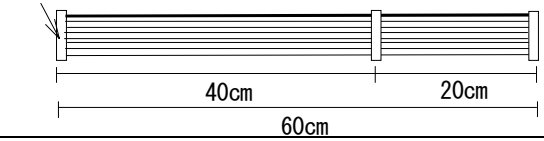
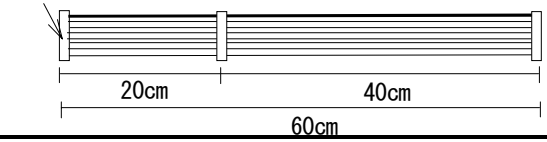
容量表記について

1T(テラ)バイト ＝ 1,000Gバイト
1G(ギガ)バイト ＝ 1,000Mバイト
1M(メガ)バイト ＝ 1,000,000バイト

別売オプション品

弊社の別売オプション品について説明します。

IDEフラットケーブル

型番	長さ	タイプ
FL-I40※1	45cm	Ultra ATA/33対応IDEフラットケーブル 
FL-I40-L※1	60cm	Ultra ATA/33対応IDEフラットケーブル 
FL-I40H※2	45cm	Ultra ATA/133/100/66対応IDEフラットケーブル 青いコネクタ（パソコン本体接続側） 
FL-I40H-L※2	60cm	Ultra ATA/133/100/66対応IDEフラットケーブル 青いコネクタ（パソコン本体接続側） 
FL-I40H-L2※2	60cm	Ultra ATA/133/100/66対応IDEフラットケーブル 青いコネクタ（パソコン本体接続側） 

※1 Ultra ATA/133/100/66に対応したパソコン・インターフェイスボードには非対応。

※2 Ultra ATA/33に対応した機器やパソコン・インターフェイスボードにもお使いいただけます。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。



弊社ホームページもご覧ください

サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A,
Newsなど

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】(34ページ)で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A,
Newsなど

2 それでも解決できない場合は･･･

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 金沢…076-260-3367 東京…03-3254-0340
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055
インターネット： http://www.iodata.jp/support/



お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

B'sCrew for Windowsに関するお問い合わせ

B'sCrew for Windowsに関するお問い合わせ

B'sCrew for Windowsに関しては、
ビー・エイチ・エー社までお問い合わせください。

●お問い合わせ先
株式会社ビー･エイチ･エー　サポートセンター
TEL　06-4861-8234
FAX　06-6378-3336
受付時間：月～金曜日　10:00～17:00
（夏期･年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

B'sCrew for Windowsのバージョンアップ

ビー・エイチ・エー社製 「B'sCrew for Windows」のバージョンアップサービスは弊社では行っておりません。

バージョンアップをご希望される場合は添付の「ビー・エイチ・エー社　ユーザー登録ハガキ」にてユーザー登録を行ってください。

また、㈱ビー・エイチ・エー社のホームページでもバージョンアップができます。



ビー・エイチ・エー社のホームページ
http://www.bha.co.jp/

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

UHDIシリーズ 取扱説明書
2002.Oct.28 109063-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。